子宮内容除去術を受ける患者様へ

患者氏名:様 入院病棟:病棟 主治医: 受け持ち看護師:	No
--	----

日付			
入院日数	入院後~手術前	手術中	手術後~退院まで
イベント		入院当日 入院当日	
目標 毎日看護師と 評価します	口手術前後の状態や経過について理解出来る	□血圧・脈拍・体温が正常範囲内で経過する □異常な出血がない	□血圧・脈拍・体温が正常範囲内で経過する □異常な出血がない □独歩で退院できる □退院後の生活や異常時について理解できる
内服 注射	口薬を飲んでいる人は看護師にお知らせ下さい。※下剤・睡眠薬・市販薬・サプリメントなども含みます。 口入院後、点滴をします 口前投薬があります。	口麻酔薬を使用し、入眠を確認してから手術 を開始します。	口手術終了後、問題がなければ点滴は終了し抜針します。
治療処置	口医師が診察を行い、子宮の入り口を広げる処置をします。 口出血・腹痛の有無についてお聞きします。	□血圧・脈拍・酸素飽和度を測定します。 □麻酔施行後、呼吸状態を観察します。 □酸素マスクを使用することがあります。	□手術後に麻酔が完全に醒めた後、医師が退院診察を行います。 ※退院診察で問題なければ退院となります。
食事飲水	□手術が終わるまでは食事・飲水はできませ ん。		□麻酔が完全に醒め、吐き気などの症状がなければ飲水・食事が出来ます。
清潔	K		口退院後シャワー浴はできます。
排泄	口手術前に排尿を済ませておいて下さい。		口退院診察前にトイレに行きます。
安静活動	口なるべく部屋で過ごして下さい。		口麻酔から完全に醒めるまではベッド上で過ごします。麻酔が完全に醒めてから歩行出来ます。 ※最初の歩行は看護師を一緒に行います。
説明 指導	□入院後担当看護師から入院生活・手術前後に ついての説明があります。 □担当医師から手術についての説明があります。		□退院後の生活・次回受診について医師から説明があります。 □担当看護師から退院後の生活について説明があります。 ※疑問点などがありましたら、遠慮なくお聞き下さい。 退院基準:合併症(創部からの出血・感染症)がな く自宅療養が可能な状態になる